

主要事業マネジメントシート

部局名 公安委員会

事業名	東住吉警察署建替整備事業 / 担当室課 警察本部会計課									
予算額	H24 H25	千円() 千円()	千円() 千円()	H26 H27要求	千円() 千円()	千円() 千円()	実績	H24 H25	千円() 千円()	
事業の優先性	<input type="checkbox"/> 重点課題【知事重点分野】(項目名:) <input type="checkbox"/> 成長戦略(項目名:) <input checked="" type="checkbox"/> その他(項目名: 治安対策)				<input type="checkbox"/> 人口減少関係(項目名:) <input type="checkbox"/> 新・地震防災アクションプラン(項目名:)					
事業選択	役割分担	民間との役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 民間では実施不可(行政がすべき役割) <input type="checkbox"/> 民間で実施するためのインセンティブとして実施 <input type="checkbox"/> その他(理由) 公共施設建設に関する事業であるため。			行政としての役割	<input checked="" type="checkbox"/> 府の役割 <input checked="" type="checkbox"/> 国の役割 <input type="checkbox"/> 市町村の役割(理由) 警察施設の建設は施設管理者としての府の役割(国庫補助対象)			
	事業手法	手法の妥当性	警察署の老朽化が進んでおり、将来的に建替対象警察署の集中による単年度での過大な財政負担を避けるため、計画的な整備による平準化が急務である。そのような現状において、東住吉警察署は昭和46年に建設され、築後42年が経過しているが、耐震改修や別館整備なども実施せず、計画的な整備の最上位に位置する警察署となっている。そのため、早期の建替えが必要とされていたが、大阪市管理の敷地を仮庁舎建設予定地として無償使用(駐車場用地のみ有償)できることで建替えの条件整備が整ったため、7年計画による整備を行うもの。事業実施により、著しい老朽化に加え、警察事象の増加で建設当時から比べて署員数が増加となり、狭隘化も著しく、勤務環境も悪化していたものが解消されると見込まれる。							
		受益と負担	<input type="checkbox"/> 受益者負担あり(内容・水準:) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求めない(理由:) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担になじまない							
		将来のリスク管理	警察署庁舎及び設備の維持経費							
	事業間調整	庁内での連携	住宅まちづくり部公共建築室との調整が必要							
	他事業との整合性等	他事業との重複はなし								
事業効果	目標・指標	(事業目標)	警察署庁舎の建替えによる老朽化及び狭隘化の解消						-目標に達しなかった場合の見直し・改善方策	
		(指標)	業務の効率化、府民サービスの向上により警察署機能の充実強化を図る							
		(事業期間)	H 27 ~ H 33							
	コスト分析	(指標)								
		H24(フルコスト)	千円 / (指標数値)	=	千円	(コスト分析結果)				
		H25(フルコスト)	千円 / (指標数値)	=	千円					
特記事項	<事業優先性や事業選択の判断に影響を与えるような事情が新たに発生した場合等に記入>									